

報告事項ケ

「令和7年度鳥取県子どもの読書活動推進フォーラム 兼 鳥取県子ども読書アドバイザー研修会 兼 新規養成研修会」の開催結果について

「令和7年度鳥取県子どもの読書活動推進フォーラム 兼 鳥取県子ども読書アドバイザー研修会 兼 新規養成研修会」の開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和7年12月24日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

「令和7年度鳥取県子どもの読書活動推進フォーラム 兼 鳥取県子ども読書アドバイザー研修会 兼 新規養成研修会」の開催結果について

令和7年12月24日
社会教育課

令和7年3月に策定した「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第5次計画）」に基づき、子どもの読書活動を推進するため、園（所）・学校・図書館関係者、読書ボランティア等の子どもの読書活動に関わる者が一堂に会するとともに、鳥取県子ども読書アドバイザーの専門知識の習得及び新規養成を目的として、「令和7年度鳥取県子どもの読書活動推進フォーラム 兼 鳥取県子ども読書アドバイザー研修会 兼 新規養成研修会」を開催しましたので、報告します。

1 概要

- (1) 日 時：令和7年12月12日（金）午後1時30分から午後4時
(2) 会 場：エースパック未来中心 セミナールーム3
(3) 主 催：鳥取県教育委員会
(4) 参加者数：58名
(5) 内 容：
①説明：鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第5次計画）について
②基調講演：「多様な子どもたちの読書を支える環境づくり」
　　講師 野口 武悟 氏
　　（専修大学文学部教授、公益社団法人学校図書館協議会
　　理事長、放送大学客員教授）
③研究報告：「デジタル時代の子どもの発達と絵本・本のかかわり」
　　講師 佐藤 賢輔 氏
　　（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学
　　センター（CEDEP）特任助教）

2 実施内容

- (1) 鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第5次計画）の説明
　　鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第5次計画）についての策定の背景や概要について鳥取県教育委員会事務局社会教育課から説明を行った。
- (2) 基調講演
　　多様な子どもたちの読書機会の確保に向け、主に特別な教育支援を必要とする子どもや
　　外国にルーツをもつ子どもの読書環境づくりにポイントに絞りながら、具体的な取組内容
　　や事例、現状等について紹介いただき、できることから一つずつ計画的・組織的に取り組む
　　こと及び関係機関・関係者との連携・協力の重要性について講演いただいた。
- (3) 研究報告
　　現在の子どもの読書環境や、「読書・本」と「デジタルメディア」が子どもの発達に及ぼす影響、紙絵本の読書・読み聞かせとデジタル絵本の読書・読み聞かせの比較等、「量」ではなく「質」に着目した最新の研究結果について報告いただきながら、デジタル時代の子どもの読書環境について講演いただいた。

3 参加者の感想

<「大変良かった」または「良かった」と回答した割合>

基調講演：97%、研究報告：100%

<基調講演>

- ・ 多様な子どもたちのニーズに応えるのは勿論のことであるが、それを支える私たちにできるのを改めて知ることができた。無理なくできることからという終わりのことばから、先ず自分にできることから実践してみたい。
- ・ 現在、自館で行っている支援が、（想定した対象者ではなく）他の困難を抱いた方に対する支援となりうることを知り、とても参考になった。
- ・ 多言語電子絵本は知りませんでした。QRコードでデジタルコンテンツを表示する方法についてのアイデアはありましたが、画面のスクリーンショットを並べるのはとても良いアイデア。真似したく思います。

- ・ 小さな支援器具で、読書や絵本が楽しく、好きになれる子どもがいるかもしれないと思いました。
- ・ 多様な読書環境について、自身は保育士なので、そういった多様な子どもたちを受け入れ、同じように読書体験の機会をつくることが必要だと感じた。



<研究報告>

- ・ とても興味深い内容であった。日頃より、読書や読み聞かせには、量より質を意識はしていた。「量」も「質」も、心の様々な面の発達に関連することがわかった。私のデジタルよりも紙という考え方の意識を覆されたことにより、発達に応じてそれぞれの強みと弱みを理解した上で個々にあったやり方で使い分け読む事が大切だと感じた。
- ・ 提供する側がデジタル・紙それぞれの読書の良さ、質の高め方を知っていれば、子どもに合った読書環境を提供できるのだとわかりました。初めて知る情報が多く、参加して良かったです。
- ・ 絵本の読み聞かせをただすればいいというだけでなく、環境が大切ということを再認識して、意識していきたいと感じました。
- ・ 紙とデジタル、それぞれの強みを活かした方法を提供していくことが大事だと改めて気づけました。
- ・ 興味深い研究でした。研究がもっと深化していくってまたご報告を聞きたいと思いました。質についての内容・項目もこれから変化していくのかなあと思いました。

